臨床研修カリキュラム

養成コース [呼吸器内科]

全体目標:内科診療の基本を身につけ、患者の社会的背景や価値観に配慮し、全人的視野のもと、入院患者の一般的・全身的な診療とケア、症候への対応ができる。特に、主な呼吸器疾患・症候に関して、臨床検査・生理検査・画像検査を含めて幅広く学び、呼吸器内科領域の基本的な診療ができる。

個別目標:

	1カ月、1.5カ月	2ヶ月以上(再ローテーションを含む) 左記に加えて下記の事項ができる
1	医療面接、全身(特に胸腹部)の身体診察ができる	
2	適切な診療録の記載ができる	
3	以下の検査に関し、①適応の判断 ②手技の実施 ③結果の解釈 ができる。 尿・血液検査、動脈血液ガス分析、呼吸機能検査	胸腔穿刺を、指導医のもと穿刺部位の選定から穿刺までを行うことができる
4	胸部X線の適応の判断と系統的な読影ができ、解釈を述べることができる	
5	胸部CTの適応の判断と系統的な読影ができ、解釈を述べることができる	
6	気管支鏡検査の適応および実施方法、合併症が理解できる	気管支鏡の操作方法を理解し検査の一部を実施できる
7	気管支喘息、COPD に関し、ガイドラインに沿って診断し初期治療ができる	気管支喘息、COPD に対する慢性期の治療ができる
8	呼吸器感染症に関して、各種培養検査・抗体検査などの適切な適応判断と結果の解釈および治療方針の立案ができる	呼吸器感染症に関して培養等の結果をふまえた治療が実施できる
9	間質性肺炎の診断、分類、治療方針が理解できる	間質性肺炎の増悪に対する治療方針が理解できる
10	肺癌の診断、病期および治療適応に関して理解できる	
11	抗がん剤治療を、決まったプロトコールに従って、想定しうる有害事象を理解し、患者の全身管理ができる	抗がん剤の有害事象への初期対応ができる
12	緩和ケアに関して理解し、基本的な症状コントロールに関して立案できる	緩和ケアにおける疼痛管理が実施できる
13	慢性呼吸不全に関して、在宅酸素療法の適応を判断し、酸素量の設定を行うことができる	非侵襲的人工呼吸器(NPPV)の適応を理解し、管理・調整できる

方略:

病棟で5-10人程度の患者を受け持ち、上級医・指導医の指導のもと受持医として主体的に診療する。

- ・教授回診…週1回(月)。受け持ち患者に関してプレゼンテーションを行う。
- ・症例検討…週1回(金)。気管支鏡予定患者および重症患者などに関して、受け持ち患者のプレゼンテーションを行う。
- ・気管支鏡検査…週2回(水・金)。検査の準備を行い、一部検査を実施する。

- ・6科合同カンファレンス…週1回(木)。呼吸器外科、呼吸器内科、放射線診断部、放射線腫瘍部、病理部、腫瘍内科による合同カンファレンスに参加する。
- ・抄読会…週1回(月)。ローテーション中1回、論文を読んで内容に関して発表する。
- ・その他…呼吸器学会等の地方会や呼吸器勉強会に積極的に参加する。

評価:

- ・EPOCII による指導医評価を行う
- ・EPOCII による看護師等からの多職種評価を行う
- ・総合臨床教育センターにて半年に1回面接評価を行う